

Information Technology Outsourcing Network and Networking Capability : Based on the Cases of Chinese Companies

許, 超

<https://doi.org/10.15017/1654642>

出版情報 : 九州大学, 2015, 博士 (経済学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : 全文ファイル公表済

氏 名	許 超 (シュ チャオ)			
論 文 名	Information Technology Outsourcing Network and Networking Capability: Based on the Cases of Chinese Companies (IT アウトソーシング・ネットワークとネットワーク能力：中国企業の事例に基づいて)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	石田修
	副 査	九州大学	教授	星野裕志
	副 査	九州大学	講師	関廷媛

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、コンピュータやインターネットといった情報技術に関連した業務の外部委託（以下ではITOと記す）の受け入れ側である中国企業の事例研究を通じて、ネットワーク形成と企業能力構築との関連を考察している。

本論文は、以下の構成をとっている。まず、ITO市場動向と受け入れ側である中国企業の特徴を分析する。次に、先行研究を行い、その上で、研究手法を明確にする。続いて、まず、ダイアド・レベルとして組織間関係の事例研究を行い、その上で、ネットワーク・レベルとして構造的埋め込みの事例分析を行う。そして、本研究の成果を要約した後で、研究の限界と今後の課題を提示する。

本論文の意義は、以下の点を挙げるができる。第1に、中国大手ITO企業であるINSIGNAおよびNEUSOFTの両社を対象として、従業員の詳細なインタビューを含めた事例研究を行い、組織間関係と事業展開の分析を通して、個人レベルの信頼に始まり、集団レベルの信頼、組織間レベルの信頼を勝ち取っていく様子を提示した。第2に、ITO企業として実績の無い状態から多国籍企業として成長するまでの進化の過程を3段階に区分し、NEUSOFT社へのインタビューや資料による事例研究により、企業成長にとってネットワーク形成能力とそれに基づいた学習・能力構築が重要であることを明確にした。そして、第3に、優位性を当初から保持している先進国多国籍企業と対比し、内部優位性が低い新興国多国籍を構造的埋め込みの視点から分析し、新興国多国籍企業の立場からネットワークを資源として位置づけた。

以上の理由により、本論文調査会は、許超氏により提出された論文 Information Technology Outsourcing Network and Networking Capability: Based on the cases of Chinese companies を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める。